

T

G

株主の皆さまと東京ガスをつなぐ

## 東京ガス通信 2002年冬号

- 株主の皆さまへ
- 新中期経営計画の概要
- 2003年3月期中間決算のご案内
- “ピピッとコンロ”でクッキング
- 工場見学会のご案内

## 2003年3月期中間決算ハイライト

### 連結決算総括

(単位：百万円)

	2003年3月期中間期 (2002.4~2002.9)	前中間期比 増減率(%)	2002年3月期中間期 (2001.4~2001.9)	2002年3月期 (2001.4~2002.3)
売上高	<b>473,682</b>	-1.5	480,755	1,097,589
中間(当期)純利益	<b>18,419</b>	110.6	8,744	51,911
株主資本	<b>562,755</b>	5.2	534,826	564,077
総資産	<b>1,646,932</b>	-2.6	1,691,070	1,702,712
フリーキャッシュフロー	<b>38,749</b>	5.5	36,741	92,178
1株当たり中間(当期)純利益(円)	<b>6.57</b>	111.3	3.11	18.47
1株当たり株主資本(円)	<b>202.46</b>	6.4	190.33	200.75
株主資本比率	<b>34.2%</b>	—	31.6%	33.1%

フリーキャッシュフロー = 中間(当期)純利益 + 減価償却費 - 設備投資額

当社においては、18の子会社を連結対象としており、関連会社1社(ガスマレーシア社)に持分法を適用しています(子会社の情報については17ページをご覧ください)。

### ガスを使った快適な暮らし(表紙:床暖房のある部屋)

当社では都市ガスの安定供給はもとより、ガスを使った快適な暮らしのご提案を行っています。ご家庭でガスをお使いいただいているお客さまに、食・住まい・お湯・ガスに関する、生活に役立つ情報を「ほっと@HOME」を通じてお届けしていますので、ぜひご覧ください。



<http://home.tokyo-gas.co.jp/>

### 目次

株主の皆さまへ	<b>1</b>
新中期経営計画の概要	<b>2</b>
トピックス	<b>7</b>
2003年3月期 中間決算のご報告(連結)	<b>8</b>
2003年3月期 中間決算のご報告(単体)	<b>12</b>
“ピピッとコンロ”でクッキング	<b>14</b>
工場見学会のご報告	<b>16</b>
会社情報	<b>17</b>

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに株主の皆さまと当社をつなぐ「東京ガス通信2002年冬号」をお届けいたします。

この冬号で特に皆さまにお伝えしたいことは、本年10月に発表いたしました当社グループの新たな中期経営計画（2003年度～2007年度）「フロンティア2007」です。

当社は、1999年11月に2000年度～2004年度の5ヶ年の中期経営計画を発表し、グループを挙げてその実現に取り組んでまいりました結果、2002年度までの3ヶ年で所期の目標を達成できる見通しとなりました。

一方、これからの規制緩和の進展や競合状況の激化など、当社グループをめぐる経営環境の変化はめまぐるしく、こうした環境変化に対応し、さらなる成長・発展を目指すためのアクションプランとして「フロンティア2007」を策定いたしました。

「フロンティア2007」では、これまでのガス単体供給だけでなく、LNG（液化天然ガス）の上流開発から輸送、販売までの天然ガスのバリューチェーンを活用して、電力事業、エネルギーサービス、家庭用新サービスなど新たなエネルギー関連事業領域へと事業拡大し、エネルギーとエネルギー付加価値を提供する「エネルギーフロンティア企業グループ」として、株主の皆さま、お客さま、社会から常に信頼を得て発展し続けることを目指しております。

株主の皆さまには、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2002年12月



代表取締役社長

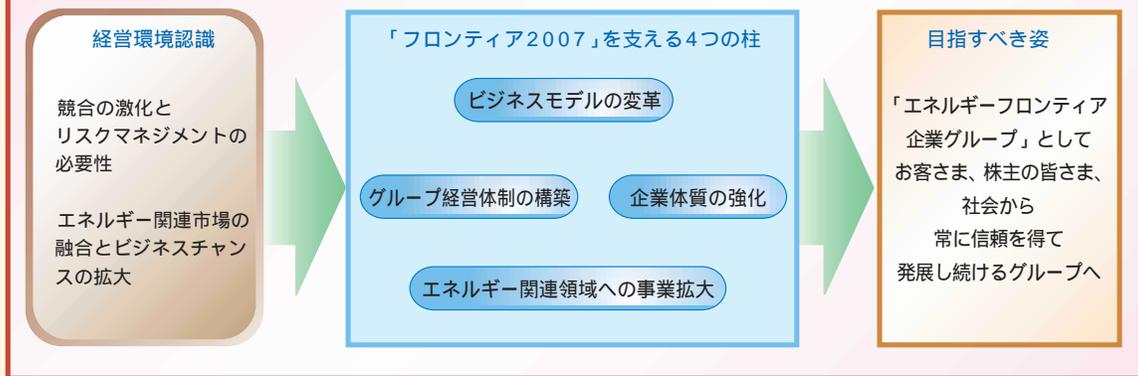
上原英治

# 新たなステージを目指した変革と創造の計画 「フロンティア2007」の策定

このたび、将来における環境変化のもとで当社グループとしてさらなる発展を目指し、成長していく姿を示した「フロンティア2007(2003年度～2007年度グループ中期経営計画)」を策定いたしました。

本計画は「グループとしての競争力を強化すると同時に、拡大するビジネスチャンスを実確にとらえ、当社グループが将来にわたってお客さまに選択され成長・発展し続けるために、当社グループの体質、ビジネスの領域や仕組みそのものを変革する計画」と位置付けております。

## 「フロンティア2007」のアウトライン

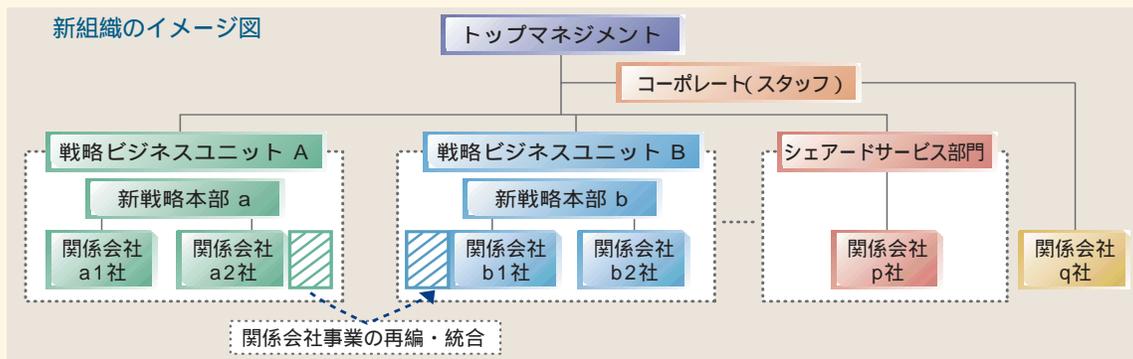


### 1. ビジネスモデルの変革

これまでの、都市ガスの生産・供給・販売といったガス単体供給中心のビジネスモデルから、エネルギーとエネルギー付加価値をグループトータルのバリューチェーンを通じて提供するビジネスモデルに変革してまいります。

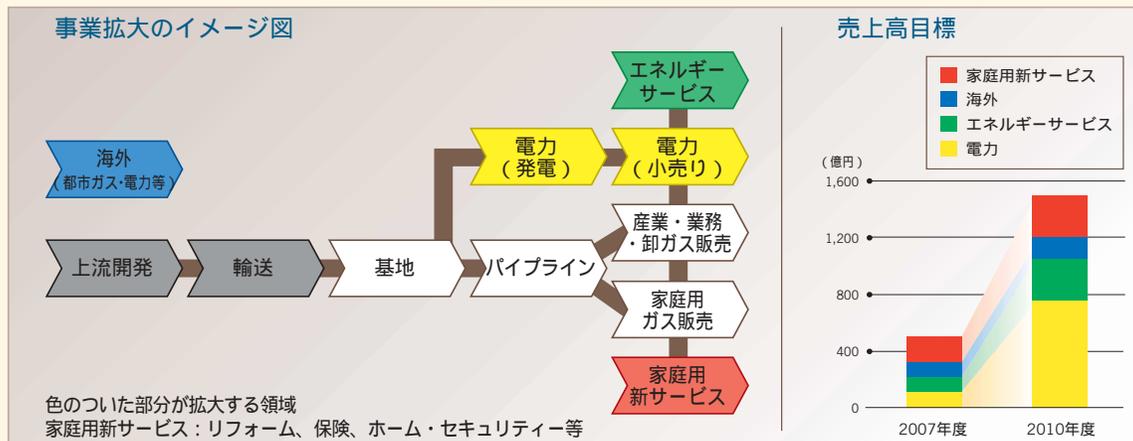
## 2. グループ経営体制の構築

グループが有する経営資源や商材・ノウハウを最大限活用し、本体事業と関連する関係会社事業とを一体の戦略単位・経営単位と位置付ける「戦略ビジネスユニット制」を2004年4月から導入いたします。さらに、関係会社事業の構造改革を通じ、より大胆な事業の再編や戦略の展開を行い、グループ経営力の強化を図ります。



## 3. エネルギー関連領域への事業拡大

エネルギー関連領域への積極的な事業拡大を行い、新規領域で2007年度売上高500億円、2010年度売上高1,500億円を目指します。



## 4. 企業体質の強化

### ① コーポレートガバナンスの確立

今後とも、すべての企業活動の中心にお客さまを置き、コンプライアンス(法令遵守)<sup>1</sup>の徹底と積極的な情報公開に努めます。特に、コンプライアンスについては、社長以下から構成される「経営倫理委員会」の設置に加え、常設の専門対応組織によって推進してまいります。(本年11月1日にコンプライアンス部を設置しました)

また、本年6月に、コーポレートガバナンス強化の観点から、取締役数の大幅な削減、社外取締役の選任および執行役員制度の導入を実施いたしました。

### ② 財務体質の強化と評価基準の明確化

連結で約1,500億円(単体約900億円)の有利子負債削減を実施し、財務体質を強化します。また、事業の進出・継続・撤退の判断基準としてTEP<sup>2</sup>、投資判断基準としてNPV<sup>3</sup>、IRR<sup>4</sup>をグループ共通の基準として導入します。

### ③ コスト削減の徹底

固定資産、金融資産などの圧縮により資産効率を向上させ、新規事業への投入キャッシュ・フローを確保します。

人材育成と人員の削減を進め、2007年度末までに2002年度末比で約1,700人減(16%)とし、8,800人以下の体制とします。

諸経費の徹底した合理化に努め2007年度を2002年度と同レベルに抑制します。

### ④ 株主の皆さま、お客さまへの対応

1株当たりの価値を向上させ、資本コストを削減するために、5ヶ年で1,000億円規模の自社株取得を実施します。

競争力を強化するため、料金引き下げを実施します。具体的な料金引き下げ幅、時期については今後の状況を見て判断してまいります。

## 用語解説

<sup>1</sup> コンプライアンス(法令遵守)▶企業倫理および企業に関する法令やルールなどを厳格に遵守するとともに社会的規範に沿った企業行動をとること。

<sup>2</sup> TEP: Tokyo Gas Economic Profit(東京ガス版EVA<sup>®\*</sup>)

\* EVA<sup>®</sup>: Economic Value Added(経済付加価値)/EVA<sup>®</sup>は、米国スターン・スチュワート社の登録商標です。

▶企業の経営評価のための指標のひとつ。下記計算式を用いて、企業の資本を使って生み出された価値を表す。

TEP = 税引後・利払前利益 - 資本コスト(有利子負債コスト + 株主資本コスト)

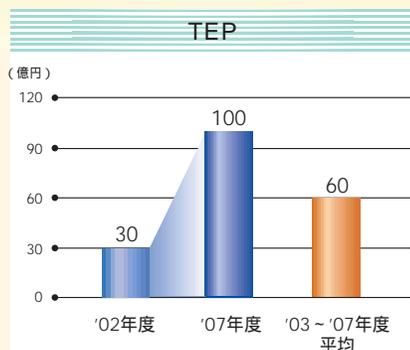
<sup>3</sup> NPV: Net Present Value(正味現在価値)

▶投資機会を評価する指標のひとつ。投資によって得られる期間利益(リターンコスト)を、妥当な金利を用いて割引くことにより、投資の現在価値を求め、この現在価値により投資を判断する。

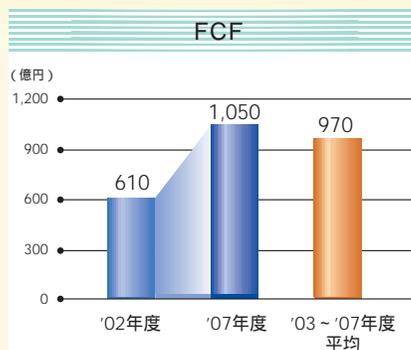
<sup>4</sup> IRR: Internal Rate of Return(内部収益率)

▶投資プロジェクトの評価指標のひとつ。投資によって得られる将来の収入の現在価値と、投資額の現在価値とを等しくさせる割引率。

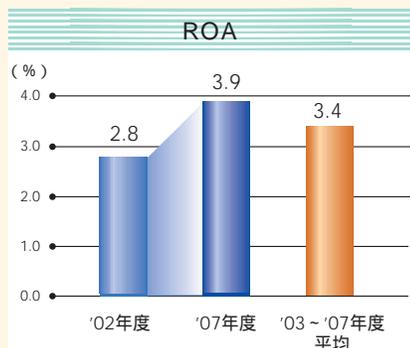
## 主要経営目標(連結)



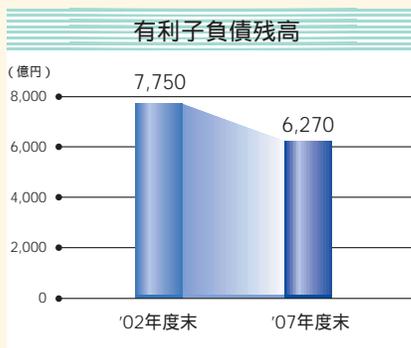
TEP : Tokyo Gas Economic Profit (東京ガス版EVA®)  
 TEP = 税引後・利払前利益 - 資本コスト(有利子負債コスト  
 + 株主資本コスト)



FCF(フリーキャッシュフロー) =  
 当期純利益 + 減価償却費 - 設備投資額



ROA(総資産当期純利益率) =  
 当期純利益 ÷ 期中平均総資産 × 100

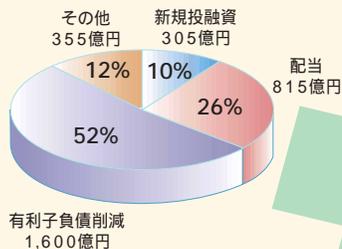


## 主要計数(連結)

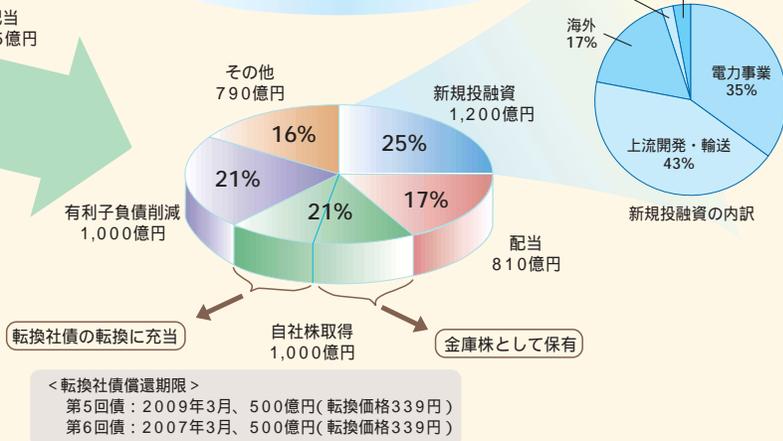
	'02年度	'07年度	'03~'07年度平均
総売上高 (億円)	11,210	11,650	11,560
ROE (%)	8.5	9.2	9.1
株主資本比率 (%)	34.2	42.4	38.4

## フリーキャッシュフローの使途計画(連結)

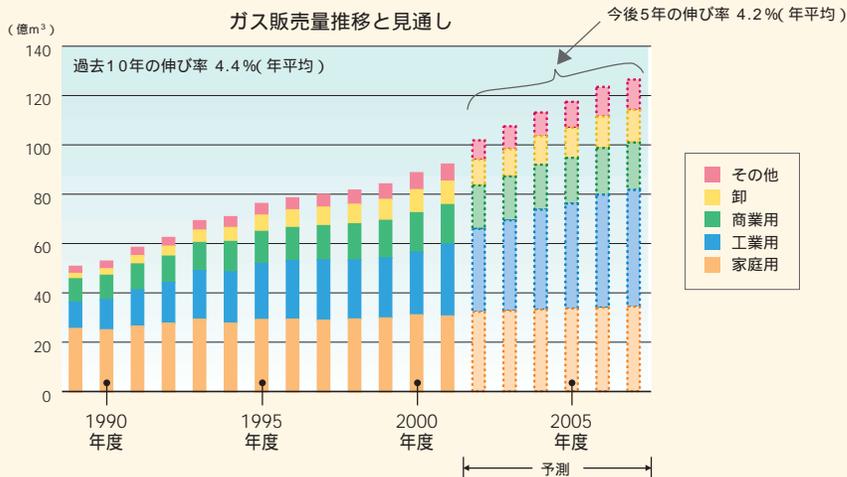
00～04前回・中期経営計画  
5ヶ年合計 3,075億円



フロンティア2007(03～07)  
5ヶ年合計 約4,800億円



## ガス需要の推移と今後の伸び



## 2002 トピックス

5月

### 家庭用燃料電池コージェネ 実住宅で運転試験開始

横浜市とさいたま市で、当社社員宅に家庭用燃料電池コージェネを設置し、当社が独自に開発した最適出力制御技術による運転試験を今春から開始しました。この運転試験により、最適出力制御技術の適用性を検証・評価し、より省エネルギー性を向上させるための制御方法の確立を目指します。



運転試験中の  
家庭用燃料電池コージェネ

### 「環境格付け」において高い評価

当社は「トーマツ審査評価機構」が実施した、環境報告書発行企業330社を対象とする「環境格付け」において、上位12社に評価されました。環境に配慮する企業に優先投資する動きや環境面からの市場選別が広がるなか、「環境格付け」については、企業の評価軸として重要視されています。

7月

### (株)エネルギーアドバンスを設立

企業や自治体などが保有する建物・工場、および都市開発プロジェクトなどに総合的なエネルギーサービスを提供する「株式会社エネルギーアドバンス」を設立しました。省エネコンサルタントから設計、施工、運転管理、メンテナンス、ファイナンスに至る

まで、お客さまのさまざまなニーズに対応したサービスを、ワンストップで提供するエネルギーサービスプロバイダーとして事業を展開いたします。資本金は30億円で全額当社の出資です。

9月

### 自己株式の市場買付けを実施

当社は、商法第210条の規定に基づく自己株式取得のための市場買付けを実施しました。買付株式数は2,973万株で、買付総額は約100億円です。

10月

### 3社の連携で 天然ガスパイプラインを共同建設

当社と静岡ガス、帝国石油の3社は2006年末の完成を目指し、静岡県富士市から御殿場市に至る天然ガスパイプラインを共同建設することに合意しました。なお、建設および操業の共同事業を円滑に運営していくため、2003年末までに3社均等出資による事業会社を設立する予定です。



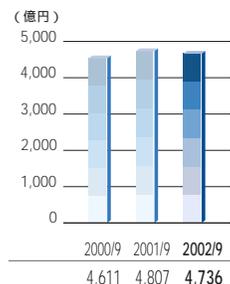
## ● 2003年3月期中間決算のご報告(連結)

### 中間連結損益計算書(要旨)

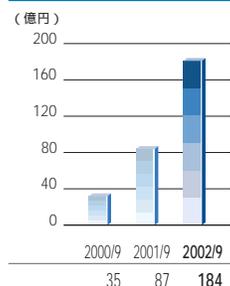
(単位:百万円)

	2003年3月期中間期 (2002.4-2002.9)	2002年3月期中間期 (2001.4-2001.9)	2002年3月期 (2001.4-2002.3)
売上高	473,682	480,755	1,097,589
売上原価	236,918	250,305	561,988
売上総利益	236,764	230,450	535,600
供給販売費	168,782	169,962	353,977
一般管理費	32,027	33,720	71,015
営業利益	35,954	26,767	110,607
営業外収益	4,016	4,156	7,605
営業外費用	12,473	19,830	37,586
経常利益	27,497	11,092	80,626
特別利益	2,163	3,397	4,200
特別損失	201	—	1,965
税金等調整前中間 当期 純利益	29,459	14,490	82,861
法人税・住民税及び事業税	9,429	2,980	31,507
法人税等調整額	1,570	2,557	741
少数株主損益	40	207	184
中間 当期 純利益	18,419	8,744	51,911

### 売上高



### 中間純利益



### 中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	2003年3月期中間期 (2002.4-2002.9)	2002年3月期 (2001.4-2002.3)	2002年3月期中間期 (2001.4-2001.9)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	2,064	2,038	2,038
資本準備金期首残高	2,064	2,038	2,038
資本剰余金増加高	0	25	0
資本剰余金中間期末(期末)残高	2,065	2,064	2,039
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	387,315	353,793	353,793
連結剰余金期首残高	387,315	353,793	353,793
利益剰余金増加高	18,419	51,911	8,744
中間純利益	18,419	51,911	8,744
利益剰余金減少高	8,524	18,390	9,960
配当金	8,429	18,265	9,835
取締役賞与金	95	125	125
利益剰余金中間期末(期末)残高	397,210	387,315	352,578

### 原油価格・為替レート



(注) 会計制度の改正により、連結剰余金計算書の表示方法が変更されております。そのため前期および前中間期についても当中間期の基準に組み替えて表示しております。

## 中間連結決算の概要

ガス販売量は、家庭用が年度初めに気温が高めに推移した影響がありましたが、工業用が発電需要向けなどの拡大により大幅に増加したこと等により、全体では前中間期に比べ11.0%増となりました。

また、ガス売上高については、販売量が増加したものの、原料費調整制度に基づく料金単価調整等もあり、2.7%増となりました。

一方、費用については、原材料費が販売量の伸びに伴い増加しましたが、経営効率化の一層の推進を図り、費用の抑制に最大限の努力を重ねてきました。

この結果、営業利益は前中間期に比べ34.3%増の359億円、経常利益は同147.9%増の274億円となりました。また、当中間期は投資有価証券売却益18億円を特別利益として計上したこと等により、中間純利益は同110.6%増の184億円になりました。

### 原料費調整制度

為替レートや原油価格の変動によるLNG購入価格の変動を、ガス料金に速やかに反映させることを目的として、1996年1月の料金改定時に導入された制度。反映されるまでに最大6ヶ月間のタイムラグがあります。

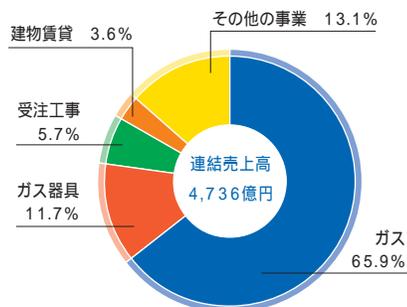
### 事業の種類別セグメント情報

事業区分はガス事業会計規則に準拠した売上集計区分によっています。

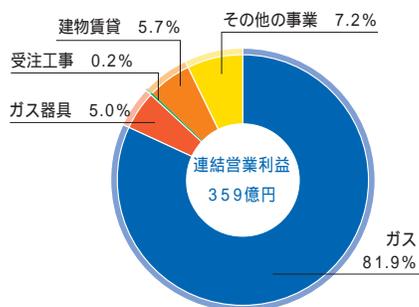
各事業区分に属する主要な製品は以下のとおりです。

- ・ガス ..... ガス
- ・ガス器具 ..... ガス機器
- ・受注工事 ..... ガス工事
- ・建物賃貸 ..... 建物の賃貸・管理等
- ・その他の事業 ..... 地域冷暖房、コークス、液化石油ガス  
総合エンジニアリング等

連結売上高構成比(2003年3月期中間期)



連結営業利益構成比(2003年3月期中間期)



(注)売上高および営業利益の構成比率には、セグメント間の取引を含んでおります。

## 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	2003年3月期中間期 (2002.9.30)	2002年3月期 (2002.3.31)	2002年3月期中間期 (2001.9.30)
<b>(資産の部)</b>			
固定資産	1,429,701	1,450,814	1,469,609
有形固定資産	1,230,070	1,249,936	1,263,557
無形固定資産	18,508	19,196	19,450
投資等	181,122	181,681	186,601
流動資産	217,231	251,898	221,461
資産合計	1,646,932	1,702,712	1,691,070
<b>(負債の部)</b>			
固定負債	772,285	836,977	853,331
社債	273,233	253,233	238,843
転換社債	183,752	235,693	245,028
長期借入金	163,067	191,960	209,664
その他	152,233	156,091	159,796
流動負債	308,106	297,861	299,091
1年以内に期限到来の固定負債	112,001	40,443	119,340
支払手形及び買掛金	26,849	38,055	28,250
短期借入金	40,725	42,709	37,091
未払法人税等	14,513	33,663	7,575
その他	114,018	142,991	106,835
負債合計	1,080,392	1,134,838	1,152,422
<b>(少数株主持分)</b>			
少数株主持分	3,785	3,796	3,821
<b>(資本の部)</b>			
資本金	141,843	141,843	141,818
資本剰余金	2,065	2,064	2,039
利益剰余金	397,210	387,315	352,578
その他有価証券評価差額金	31,890	32,835	38,332
為替換算調整勘定	12	114	64
	573,020	564,172	534,833
自己株式	10,266	95	6
資本合計	562,755	564,077	534,826
負債・少数株主持分及び資本合計	1,646,932	1,702,712	1,691,070

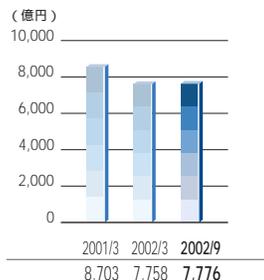
## 総資産・株主資本・株主資本比率



総資産(億円)	17,976	17,027	16,469
株主資本(億円)	5,527	5,640	5,627
株主資本比率(%)	30.8	33.1	34.2

株主資本比率 = 株主資本 ÷ 総資産 × 100

## 有利子負債残高



有形固定資産の減価償却累計額は2,228,578百万円です。  
会計制度の改正により、資本の部の表示方法が変更されております。

## 資産の部

資産は全体で対前期末比557億円減少していますが、その内訳は固定資産の211億円減および流動資産の346億円減です。

固定資産の減少の主な内訳は、既存設備の減価償却が進んでいること等による有形固定資産の減少です。

流動資産の減少は、主に季節的変動による売掛金等の減少によるものです。

## 負債及び資本の部

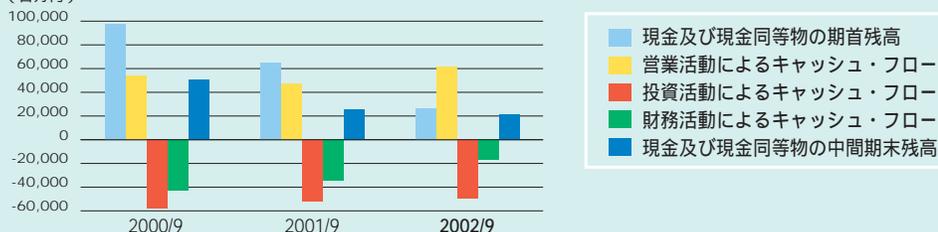
負債の減少544億円の主な理由は、社債発行による増加および季節的要因による未払法人税・未払金等の減少によるものです。資本の部における自己株式は、市場買い付けによるものです。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2003年3月期中間期 (2002.4-2002.9)	2002年3月期中間期 (2001.4-2001.9)	2002年3月期 (2001.4-2002.3)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	62,202	47,748	191,675
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	51,069	52,107	111,820
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	16,948	34,548	117,176
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1	6
V. 現金及び現金同等物の増減額	5,819	38,910	37,314
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	27,260	64,575	64,575
VII. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	21,441	25,665	27,260

(百万円)



## 中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要

当中間期においては、営業活動で622億円、投資活動で510億円、財務活動で169億円のキャッシュ・フローが生じており、現金及び現金同等物は前期末に比べ58億円減少しています。なお、投資活動の結果使用した現金及び現金同等物の額(510億円)が当中間期の減価償却費(663億円)を下回っていることから、当中間期の投資をすべて自己資金で賄えたこととなります。

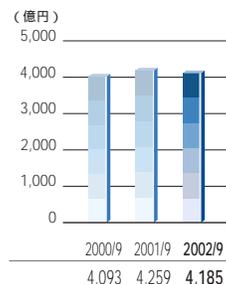
# ● 2003年3月期中間決算のご報告(単体)

## 中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2003年3月期中間期 (2002.4-2002.9)	2002年3月期中間期 (2001.4-2001.9)	2002年3月期 (2001.4-2002.3)
<b>営業収益</b>	<b>418,519</b>	<b>425,915</b>	<b>974,566</b>
ガス売上	329,538	321,018	743,347
営業雑収益	76,793	85,552	194,681
附帯事業収益	12,188	19,344	36,536
営業費用	392,375	406,595	882,267
売上原価	118,945	117,858	264,651
供給販売費	155,198	156,224	325,989
一般管理費	33,345	35,337	74,222
営業雑費用	73,727	81,648	186,363
附帯事業費用	11,157	15,526	31,040
営業利益	26,144	19,319	92,299
営業外収益	6,873	6,729	12,188
営業外費用	10,526	17,771	32,238
経常利益	22,492	8,277	72,249
特別利益	2,163	3,397	4,200
特別損失	58	—	665
法人税等	7,090	1,620	27,230
法人税等調整額	1,351	2,276	102
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>16,156</b>	<b>7,777</b>	<b>48,451</b>

### 営業収益

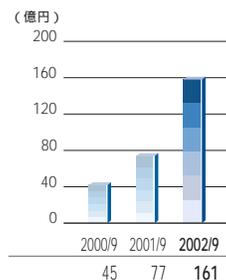


### ガス販売量・お客さま件数



ガス販売量(億m <sup>3</sup> )	2000/9	2001/9	2002/9
家庭用	11.7	11.5	11.7
業務用	11.2	11.6	12.0
工業用	12.0	13.5	16.7
その他	4.2	4.3	4.9
合計	39.4	41.0	45.5
お客さま件数 (万件)	876.6	893.3	911.4

### 中間純利益



## 中間貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	2003年3月期中間期 (2002.9.30)	2002年3月期 (2002.3.31)	2002年3月期中間期 (2001.9.30)
<b>(資産の部)</b>			
固定資産	1,195,021	1,224,869	1,236,855
有形固定資産	919,086	974,169	980,510
無形固定資産	14,196	15,238	15,674
投資等	261,738	235,462	240,670
流動資産	154,982	186,575	162,036
資産合計	1,350,004	1,411,444	1,398,892
<b>(負債の部)</b>			
固定負債	626,884	695,703	695,270
社債	252,433	246,233	231,043
転換社債	183,752	235,693	245,028
長期借入金	68,218	88,394	90,796
その他	122,480	125,383	128,403
流動負債	209,676	198,670	213,545
1年以内に期限到来の固定負債	89,504	22,884	104,256
買掛金	13,412	18,208	11,874
短期借入金	—	466	466
その他	106,760	157,112	96,949
負債合計	836,561	894,373	908,816
<b>(資本の部)</b>			
資本金	141,843	141,843	141,818
資本剰余金	2,065	2,064	2,039
利益剰余金	350,530	342,882	310,638
(うち中間(当期)末処分利益)	50,003	71,995	39,751
株式等評価差額金	29,269	30,375	35,579
自己株式	10,266	95	—
資本合計	513,442	517,070	490,076
負債・資本合計	1,350,004	1,411,444	1,398,892

有形固定資産の減価償却累計額は1,931,304百万円です。  
会計規則の改正により、資本の部の表示方法が変更されております。

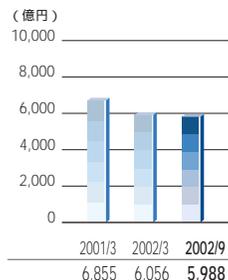
### 総資産・株主資本・株主資本比率



総資産(億円)	14,901	14,114	13,500
株主資本(億円)	5,081	5,170	5,134
株主資本比率(%)	34.1	36.6	38.0

株主資本比率 = 株主資本 ÷ 総資産 × 100

### 有利子負債残高



# “ピピッとコンロ”で クッキング♪

## マサにガスだね！最新ガスコンロの紹介

日本の食文化の中で支持されてきたガスコンロ。炎を使って、安全・便利に美味しい料理をつくっていただけるよう、最近のガスコンロは、清掃性が向上し、多彩な機能を備えています。

「ピピッとコンロ」とは、さまざまな機能設定がピピッとキー操作ひとつで可能な「進化型」コンロのことです。揚げ油の温度調節や自動炊飯、湯沸かし機能などの温度調節機能を搭載し、操作パネルに指一本で触れるだけで簡単に使いこなせます。

また、グリルタイマーや消し忘れ消火機能を装備し、安全性にも配慮しています。近年、性能が良くなったといわれている電磁調理器（IHクッキングヒーター）と比較しても、安全性、清掃性で遜色なく、強い火力で調理性は抜群です。

### こんなに便利！「ピピッとコンロ」の主な機能

#### グリル調理タイマー

お料理に合わせて焼き時間を1～15分まで設定。設定時間が経過すると、自動消火してブザーでお知らせするので、焼き過ぎる心配がありません。

#### 揚げものの温度調節機能

160、180、200の3段階に温度設定が可能。弱火・強火のくり返して設定温度を自動的にキープします。



#### コンロ調理タイマー

お料理に応じて調理時間をセットすると、設定時間で自動消火するので、煮物や煮込み料理などに便利です。



#### 消し忘れ消火機能

点火後、約1～2時間で自動的に消火するので、うっかり火をつけっぱなしにするのを防ぎます。

ピピッとどきどき♡

ピピッとコンロ



「ピピッとコンロ」はバリエーションも豊富！お好みの天板カラーが選べます。

ガラストップシリーズ



ブラック

RN-M873P-XHL(R)  
希望小売価格 ¥138,000円(税・工事費別)  
カラーはブラック以外に、●シルバーがあります。

光沢ホーローシリーズ



ピンク

HR-M873P-4HL(R)  
希望小売価格 ¥98,800円(税・工事費別)  
カラーはピンク以外に、●クリームイエロー ●ブラック ●ネイビーがあります。

ステンレストップ



ステンレス

HR-T873P-MCSHL(R)  
希望小売価格 ¥99,800円(税・工事費別)

ピピッとコンロ受付事務局 ☎ 0120-878-565 [受付時間：月～金曜(祝日を除く)の10:00～17:00] ホームページ：http://www.gas-living.com

## 超人気シェフに学ぼう! ピピッとコンロでピピッとクッキング♪



野崎洋光 さん

「分とく山」

総料理長

東京都港区西麻布4-2-13

☎ 03-3400-2968



アンジェロ・  
コッツォリーノ さん

「バッポ・アンジェロ」  
オーナーシェフ

東京都目黒区自由が丘1-25-12

☎ 03-5729-4339

### 忍び海老のとろろかけ

材料(4人分)

海老12尾

片栗粉適宜

シシトウ8本

サラダ油適宜

おろし長芋1カップ

しょうゆ適宜



作り方

- 1 海老の背わたを取り、ひらく。  
水分をとって多めの片栗粉をまぶす。
- 2 ①の海老をラップで挟み、  
すりこぎで軽くたたいて広  
げる。海老1尾でシシトウ  
2本を包み、手のひらで握り  
形を整える。
- 3 油温度調節機能を使い160℃の油で揚げる。
- 4 ③を器に盛り、おろした長芋としょうゆを  
かける。



### イワシのマリナーラ

材料(4人分)

イワシ大4尾(小なら6尾) オリーブオイル30cc

トマトソース(市販品)100cc

塩・こしょう適宜 ケツパー

大さじ1 オレガノひとつまみ

パセリ(みじん切り)大さじ1

水大さじ5 ニンニク(みじん

切り)1片 EXヴァージンオ

リーブオイル10cc



作り方

- 1 イワシは頭を落とし3枚におろ  
して皮をむく。
- 2 グリル用のホイルにオリーブオ  
イルをしき、トマトソース半量  
を広げる。
- 3 ②にイワシの身を皮をむいた方を上にして並べ、  
塩・ケツパー・オレガノ・こしょう・パセリをかける。
- 4 ボウルに残りのトマトソースと水、ニンニク、EX  
ヴァージンオリーブオイルを入れて合わせ、③に  
かける。
- 5 アルミホイルを魚に当たらないようにふんわりかぶ  
せ、下を中火、上を弱火のグリルで約4~5分焼く。
- 6 皿に並べ、EXヴァージンオリーブオイルをかける。  
あればバジリコをあしらう。



## 工場見学会のご報告

東京ガス通信2002年春号でお知らせのとおり、個人株主の皆さまを対象にした「LNG(液化天然ガス)工場見学会」を8月22日(木)と23日(金)の2日に分けて実施いたしました。

- 日 時：2002年8月22日(木)、23日(金)  
13:00～18:00
- 見学場所：当社袖ヶ浦工場
- 参加人数：2日合わせて200名
- 見学内容：工場概要ビデオ、工場構内ご案内、LNG冷熱実験



袖ヶ浦工場は、日本で初めてのLNG専用工場として、1973年に操業を開始しました。以来29年にわたり無事故でLNG船を受け入れています。なお、2002年9月4日にはマレーシアからのLNG船「ブテリインタン号」が入港し、同基地のLNG船累計入港数が5,000隻に達しました。

LNG冷熱実験を見学する株主の皆さま。



質疑応答時には、工場内施設やLNG、天然ガスの将来性等について積極的にご質問いただきました。

参加者の皆さまからの感想として、「天然ガスに対する知識が深まり、日常使用するガスに親近感を覚えた」「工場の敷地の広さと環境整備の良さに驚いた」「LNG冷熱実験が大変面白くわかりやすかった」「また参加したい」等の声をいただきました。

来年度も、個人株主向けIR活動の一環として、このような機会を設けて、東京ガスについてのご理解を深めていただければと思っております。

次回のご案内は、2003年春号に掲載させていただきます。ご参加いただきまして、ありがとうございました。

## 前回アンケート結果

4,139通(回答率2.0%)

今後、掲載を希望される情報(複数回答可)



今回も多数のご回答をいただきまして、ありがとうございました。できる限り次号以降に反映させていただきますので、今後ともアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

# 会社情報 (2002年9月30日現在)

## 役員の状況

### 取締役および監査役

代表取締役会長	安西邦夫
代表取締役社長(兼 社長執行役員)	上原英治
代表取締役(兼 副社長執行役員)	市野紀文
代表取締役(兼 副社長執行役員)	大堀文生
取締役(兼 常務執行役員)	小林剛也
取締役(兼 常務執行役員)	石黒正大
取締役(兼 常務執行役員)	鳥原光憲
取締役(兼 常務執行役員)	草野成郎
取締役(兼 常務執行役員)	横内稔
取締役(社外)	茂木友三郎
常勤監査役	秋元壯一郎
常勤監査役	小笠原繁
常勤監査役	虎頭健四郎
監査役(社外)	那須翔夫
監査役(社外)	根本和夫

### 執行役員(取締役兼務者を除く)

常務執行役員	浦野浩	執行役員	今沢時雄
常務執行役員	久野武男	執行役員	土生哲夫
常務執行役員	膳場忠	執行役員	手塚俊夫
常務執行役員	前田忠昭	執行役員	中西誠昌
常務執行役員	國富隆	執行役員	杉山樹毅
執行役員	石川赳夫	執行役員	岡本毅一
執行役員	植村家顯	執行役員	奥澤泰
執行役員	徳本恒徳	執行役員	村木茂

## 従業員の状況

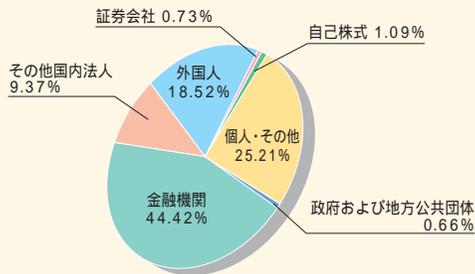
従業員数：11,471人

(注)従業員数は常勤の就業人員数を記載しており、出向者および臨時従業員を含みません。

## 株式の状況

資本金 \_\_\_\_\_ 141,843,897,558円  
 会社が発行する株式の総数 \_\_\_\_\_ 6,500,000,000株  
 発行済株式総数 \_\_\_\_\_ 2,810,168,346株  
 株主数 \_\_\_\_\_ 200,424人

## 所有者別株式分布状況



## 子会社

### エネルギー販売事業グループ

東京ガスエネルギー㈱  
 栃木ガス㈱  
 美浦ガス㈱  
 ㈱東液サービスセンター  
 新屋運輸㈱  
 東京オートガス㈱  
 ㈱ニジオ

### 冷熱利用ケミカル事業グループ

東京ガスケミカル㈱  
 東京酸素窒素㈱  
 東京炭酸㈱  
 東京レアガス㈱  
 日本超低温㈱

### 都市開発関連事業グループ

東京ガス都市開発㈱  
 東京ガスライフサービス㈱  
 東京ガステクノサービス㈱  
 パークタワーホテル㈱

### 東京ガスビルサービス㈱

東京ガス豊洲開発㈱

### 総合設備建築事業グループ

㈱開配  
 ㈱開配リビングサービス  
 東京舗材リサイクリング㈱  
 トーヨーエンジニアリング㈱  
 ニューテック㈱

### リビング事業グループ

㈱ガスター  
 東京器工㈱  
 トーセツ㈱  
 東京ガスハウジング㈱  
 東京ガス・フロロマテリアル㈱  
 ティージー・クレジットサービス㈱  
 ㈱東日本住宅評価センター

### 都市ガス事業グループ

千葉ガス㈱  
 鷲宮ガス㈱

### 松栄ガス㈱

千葉ガス都市サービス㈱

筑波学園ガス㈱

東京ガス・カスターマーサービス㈱

### エンジニアリング事業グループ

東京ガス・エンジニアリング㈱  
 東京プラントサービス㈱

### 情報サービス事業グループ

㈱ティージー情報ネットワーク  
 ㈱ティージー・アイティーサービス

### 上流・海外事業グループ

東京エルエヌジータンカー㈱  
 TOKYO GAS-MITSUI & CO.  
 HOLDINGS SDN. BHD.  
 TGMM HOLDINGS SDN. BHD.  
 TOKYO GAS ASIA SDN. BHD.  
 TOKYO GAS ENGINEERING  
 SINGAPORE PTE. LTD.  
 TOKYO GAS AMERICA  
 INTERNATIONAL INC.

### 電力・熱エネルギーサービス事業グループ

㈱東京ガスベイパワ  
 ㈱エネルギーアドバンス

### 新規事業グループ

ティージー・エンタープライズ㈱  
 ティージー・オートサービス㈱  
 ㈱グリーンテック東京  
 ㈱アーバン・  
 コミュニケーションズ  
 ㈱ダイニングアートシステムズ  
 ㈱リビング・デザインセンター  
 ティージー・テレマーケティング㈱  
 ㈱アーバンクラブ

子会社 56社  
 (うち太字は連結子会社 18社)

## 株価および出来高の推移

東京ガス株価 (円)

(東京証券取引所)



### 株主メモ

決算期	毎年3月31日
配当金受領 株主確定日	利益配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
名義書換代理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社本店 電話 03(3668)9211(代表)
同取次所 手数料	日本証券代行株式会社各支店 名義書換手数料は無料 株券交付手数料は株券1枚につき200円 ただし、株券併合の場合は無料
定時株主総会	毎年6月
公告掲載新聞	日本経済新聞

### 株式手続き案内

名義書換・単元未満株式の買い取りその他株式に関する事務は日本証券代行株式会社でお取り扱いしていますので、上記までお問い合わせください。



東京ガス株式会社

〒105-8527 東京都港区海岸 1-5-20 TEL 03(5400)3894(総務部)

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>